

平成24年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

環境立県推進課 (内線：7876)

4目 環境保全費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
バイシクルタウン推進事業	1,466	2,567	△1,101				1,466	
トータルコスト	3,880千円 (前年度 4,165千円) [正職員：0.3人]							
主な業務内容	「バイシクルタウン構想」検討会の開催。県民・企業等の自転車通勤の促進を支援							
工程表の政策目標(指標)	NPOや地域、企業などと連携・協働して、全国をリードする環境実践「とっとり環境イニシアティブ」に取り組む。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「とっとり環境イニシアティブプラン(平成24年3月策定予定)」に位置づけられるモーダルシフト(交通手段の転換)の推進の一環として、自動車から自転車への転換拡大を進める「バイシクルタウン構想」を検討するとともに、県民・企業の通勤手段等における自転車利用推進を支援をする。

2 事業内容

(1) バイシクルタウン構想検討会の設置及び運営(802千円)

自動車から自転車へ交通手段の転換拡大を進める「バイシクルタウン構想」に取り組むための検討会を設置し、モデル地区を設けて構想を策定する。

(検討委員は、大学等の専門家、自転車販売関係者、地域住民の団体、行政関係者等、12名程度で構成予定)

(2) 県民や企業の自転車エコ通勤者等の取り組み支援(630千円)

自転車エコ通勤を推進するために県民モニターを募集するとともに、平成23年度に県職員で実施した自転車通勤の取り組みを拡大させる。参加者へのアンケート調査により、継続的なエコ通勤の推進や自転車利用のための課題等を整理し、今後のバイシクルタウン構想に活かす。

(支援内容)

速度や二酸化炭素削減量などが測定出来るサイクルコンピューターをモニター提供。

- ・事業者向け：3事業者程度(10名/事業者)
- ・県民向け：90名程度

【関連事業】

○若鉄サイクルトレイン化で若桜谷活性化事業(八頭総合事務所所管事業：600千円)

若桜谷の地域活性化、若桜鉄道の利用促進等に繋げるため、マップ作成及び若桜鉄道に自転車を搭載して運行する「サイクルトレイン」を実施

○スポーツツーリズム先進モデル事業(西部総合事務所所管事業：10,500千円)

大山中海地域での自転車旅行を安心・快適に楽しめるよう、サイクリングロードの路面表示整備やサイクリストに親しまれるサービスを提供するサポーターづくりを委託実施